アシックスカップ２０１７
第４回全国高等学校７人制ラグビーフットボール大会東京都予選
実施要項

１．主　　催　東京都ラグビーフットボール協会

２．主　　管　東京都高等学校体育連盟ラグビーフットボール専門部

３．後　　援　東京都教育委員会

４．目　　的　（１）全国高等学校７人制ラグビーフットボール大会の予選とする。
また、東京オリンピックに向けた７人制ラグビーの強化と普及を目指す。
（２）７人制ラグビーの優秀選手を発掘する機会を設けてセブンズの強化に寄与する。
（３）ラグビー競技への単独チームでの出場数を増やす。

５．期　　日　平成２９年５月３日（祝水）～ ６月１８日（日）
（上記期間のうち、４～６日間でおこなう）

６．競技規則　（１）平成２８年度(財)日本ラグビーフットボール協会制定の競技規則による。

（２）試合時間は７分ハーフとし、ハーフタイムは１分以内とする。

（３）交替・入替のプレーヤーは５名以内とする。入替選手は負傷した選手の交替として再びその試合に加わることができる。

（４）イエローカードについて

①「シン・ビン」による一時退出は２分間とする（オンプレータイムで計測)。グラウンドのどこを通ってきても構わない。

②同一試合で同一選手が２回目の一時的退出を宣告された場合、その選手は退場とし、最低限、次の１試合を出場停止とする。

③本大会中に同一選手が３回目の一時的退出を宣告された場合、その選手はその場では退場とならないが、最低限、次の１試合を出場停止とし、競技委員会にてその後の処分を決定する。本大会のみの適用となり、その後の他大会への累積はしない。

レッドカードについて

退場者については最低限、次の１試合を出場停止とし、チームに警告するとともに、競技委員会にてその後の処分を決定する。本大会のみの適用となり、その後の他大会への累積はしない。

７．競技方法　（１）各チームの試合数は１日３試合までとする。

（２）予選１次リーグは、春季大会上位１６チームを除いた参加チームを複数のブロックに分けて行い、上位チームが予選２次リーグへ進出する。

（３）予選２次リーグは、春季大会上位１６チームと予選１次リーグからの進出チームを８ブロックに分けて行い、上位チームが決勝トーナメントへ進出する。

（４）予選１次・２次リーグの順位は、勝ち点制により決定する。ポイントは下記のとおり定める。

勝利＝３点　　引き分け＝２点　　敗戦＝１点　　棄権＝０点

※各予選リーグ終了時点において２つ以上のチームの勝ち点が同点の場合、当該チームの勝敗を優先し順位を決定する。優劣がつかない場合は全試合の得失点差により順位を決定する。得失点差も同点の場合は抽選とする。

※リーグ内において棄権が発生した場合、当該チームとの対戦による勝ち点は累積せず、残りのチームとの対戦による勝ち点によって順位を決定する。但し、３チームリーグにおいて棄権が発生した場合は、当該チームを除く２チームの勝敗により順位を決定する。優劣がつかない場合は抽選とする。

（５）決勝トーナメントは８チームで行い、優勝チームを東京都代表とする。

※決勝トーナメントで得点が同点の場合は、トライ数の多いチームを勝者とする。トライ数が同数の場合は抽選とする。

※決勝トーナメント決勝戦において得点が同点の場合は、トライ数の多いチームを勝者とする。トライ数も同数の場合は、5 分間の延長戦を行い、先に得点したチームを勝者とする。得点はトライ・DG・PG のいずれでもよい。延長戦においても勝敗がつかない場合は抽選とする。

（６）試合組合せは春季大会ベスト１６が確定後、役員による責任抽選を行い、東京都高体連ラグビー専門部ホームページにてお知らせする。

東京都高体連ラグビー専門部ホームページ⇒http//tokourugby.web.fc2.com/hyoushi.html

注)クラブチームのコーチ１名・選手１名は必ず連絡会に必ず参加してください。

平成 29 年 4 月 8 日（土）15:30～私立城北高校

東武東上線　上板橋駅　下車　徒歩

８．参加チームおよび参加選手の資格

（１）参加チームは学校教育法に定める高等学校に所属するチームで、東京都高等学校体育連盟ならびにラグビーフットボール協会に加盟していること。全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒による混成は認めない。

（２）東京都ラグビーフットボール協会に加盟している高校生のクラブチームも参加できるものとする。

（３）１チームの登録選手は１０名以上とし登録人数に上限は設けない。但し、試合でのベンチ入りは１２名までとし、同日に行われる全試合は同じ１２名で行わなければならない。

安全対策上、１０名に満たないチームはエントリーできないものとする。なお合同チームの参加は認めない。

（４）参加選手の資格は校長が学業、身体、人物など適当と認めたもので、次の諸項に該当する者であること。

ア．平成２９年４月１日付で(公財)日本ラグビーフットボール協会に個人登録をしている者。

イ．年齢は平成１０(１９９８)年４月２日以降に生まれた者とする。ただし出場は、同一大会３回までとし、同一学年での出場は１回限りとする。

ウ．転校後６ヶ月未満のものの参加を認めない。（外国人留学生もこれに準ずる）ただし、一家転住等やむを得ない場合は、東京都高等学校体育連盟会長の認可が必要である。

（５）統廃合の対象となる学校については、当該校を含む合同チームによる大会参加を認める。

（６）留学生・外国人選手の出場について

ア．卒業を目的とした留学生に限る。

イ．出場できる人数は１名までとする。

（７）(公財)日本ラグビーフットボール協会の「日本協会 選手・役員規定」に違反する者は参加できない。

（８）その他、参加資格に疑義がある場合は大会事務局で裁定する。

（９）参加資格の特例

ア．上記 (1)に定めるチームの生徒以外で、(2)～(7)の大会資格を満たし、かつ、東京都高等学校体育連盟が推薦する生徒を別途定める規定に従い大会参加を認める。

イ．上記（４)イの但し書きについては、各学年の区分を設けない課程に在籍する生徒の出場は、３回限りとする。

「大会参加資格の別途に定める規定」

１．学校教育法第７２条、１１５条、１２４条及び１３４条の学校に在籍し、都道府県高等学校体育連盟の大会に参加を認められた生徒であること。

２．以下の条件を具備すること。

(1)　大会参加を認める条件

ア　全国高等学校体育連盟の目的及び永年にわたる活動を理解し、それを尊重すること。

イ　参加を希望する専修学校及び各種学校にあっては、学齢、修業年限ともに高等学校と一致していること。また、連携校の生徒による混成は認めない。

ウ　各学校にあっては、都道府県高体連の予選会から出場が認められ、全国大会への出場条件が満たされていること。

エ　各学校にあっては、部活動が教育活動の一環として、日常継続的に責任ある顧問教員の指導のもとに適切に行われており、活動時間等が高等学校に比べて著しく均衡を失していず、運営が適切であること。

(2)　大会参加に際し守るべき条件
ア　全国高等学校総合体育大会開催基準要項を遵守し、競技種目大会申し合わせ事項等に従うとともに、大会の円滑な運営に協力すること。
イ　大会参加に際しては、責任ある教員が引率するとともに、万一の事故の発生に備えて傷害保険に加入しておくなど、万全の事故対策を講じておくこと。
ウ　大会開催に要する経費については、応分の負担をすること。

９．罰　　則　（１）資格を偽った者、参加資格のない者が参加した場合は、そのチームを大会より除名し、次回大会の参加も認めない。
なお、この場合は、事態発見のときの相手チームを勝者とし、それ以前のものには触れない。
（２）その他スポーツマンシップに反する行為があった場合は前項に準ずる。

１０．表　　彰　優勝および準優勝、三位チームを表彰する。

１１．参加手続　申込書を郵送する【期間：平成２９年４月８日（土）～４月１５日（土）】

申込先：〒100-0014 千代田区永田町 2-16-1　TEL03-3581-0808　FAX03-3597-8331
都立日比谷高校　　宮崎和哉先生

※不参加の場合も申込書に不参加の旨を記入し郵送すること。
※申込書提出後の登録選手の変更は認められません。
※申込書は東京都高体連ラグビー専門部ホームページよりダウンロードできます。

東京都高体連ラグビー専門部ホームページ⇒http//tokourugby.web.fc2.com/hyoushi.html

１２．参加費　12,000 円を所定の口座に振り込むこと。
【期間：平成２９年４月８日（土）～　４月１５日（土）】

※７人制については、従来の各大会の振込先とは別口座になっているため、振込先を間違えないようお願いします。
※クラブチームに関しては、総会で振込書をお渡しいたします。

１３．健康管理　大会参加に当たって、あらかじめ健康診断を受けさせる等、選手の健康管理に十分留意すること。

１４．競技運営に際しての確認事項

【試合当日・キックオフまで】

①7人制競技規則の理解	(公財)日本ラグビーフットボール協会競技規則に準じる。
②1st、2ndジャージの用意	組合せ決定後、対戦チームと相談して決めておくことが望ましい。
④保護者・OB等への連絡	対戦や会場のお知らせ及び車両乗り入れ禁止について。 高体連発行の駐車券のない車は一切駐車できない。
⑤**「顧問ミーティング」**	各チーム代表者は、各会場第1試合キックオフ時間の1時間前に本部に集合し、マッチオフィシャルの確認を行う（出場チームは、同じ会場で行われる他の試合においてマッチオフィシャルを務める）。 **その際メンバー表と試合球1球を持参する。**
⑥マッチオフィシャルの内容 **※ 7ページの運営マニュアルを必ず確認しておくこと。**	○レフリー　・・・有資格者のみ ○第3アシスタントレフリー　・・・教員または指導者 ○インゴールジャッジ　・・・教員または指導者 ○タイムキーパー　・・・生徒可 ○スコアラー　・・・生徒可 ※上記役割を担当できる者を当日のメンバー表に記入して提出する(メンバー表はHPよりダウンロードできます) **※タッチジャッジ・ボール係は、当該チームが担当する。**
⑦メンバー表（先発）の提出	「顧問ミーティング」時に、1試合目の先発欄に○印を記入して提出する。2試合目以降については２０分前までに本部席で先発メンバーに○印をつける。 背番号は固定制とし、１番～２５番までとする。
⑧会場使用方法の確認	更衣・トイレ・アップ場の使用については、会場責任者の指示に従う。ウォーミングアップは登録メンバー以外の選手は行わない。
⑨試合球の用意	「顧問ミーティング」時に各チーム1球を持参する。最終ゲーム終了後に返却する。
⑩ベンチの使用	対戦表の左のチームが本部側からみて左側のベンチ、対戦表の右のチームが本部側からみて右のベンチを使用する。 前の試合のハーフタイム終了後にベンチの後ろまたは横で待機する。
⑪ドレスチェック	自チームの第1試合前にレフリーにチェックしてもらう。 以降は顧問の責任とする。
⑫試合前・試合後の整列	10mライン上での整列は行わない。ノーサイド後はその場で挨拶程度とする。トスはハーフウェイライン上で行う。
⑬棄権する場合	「棄権届」を3日前(午前中)までに以下の①～⑤にFAX。 ① 東京都高体連ラグビー専門部事務局　都立荒川工業　諫見先生 ②　〃　7人制担当　都立日比谷　宮崎先生 ③　〃　レフリー担当　豊島学院　根岸先生 ④会場校責任者 ⑤対戦チーム責任者 ＊無断で棄権した場合は、秋季大会への参加は認めない。

⑭ベンチ入りできる者	引率責任者（教員）・監督・コーチ2名・登録選手12名・マネージャー2名・セーフティアシスタントのみ。 ※セーフティアシスタント以外は試合中にフィールドに入ることは出来ない。 **※ウォーター係はビブス(各チームで用意)を着用し、ハーフタイムのみフィールドに入ることができる。トライ後の給水は行わない。**
⑮タッチジャッジ・ボール係	自陣左側を担当する。タッチフラッグは各チームで持参する。
⑯選手の交替・入替について	選手の交替または入替を行う場合は、**所定の「選手交替・入替カード」に必要事項を記入して選手に持たせ、第3ARに提出する**。
⑰スコアの記録	各チーム、所定の「スコアカード」にスコアを記録しておく。

【試合中】

※「選手交替・入替カード」及び「スコアカード」は高体連ホームページよりダウンロードしてください。

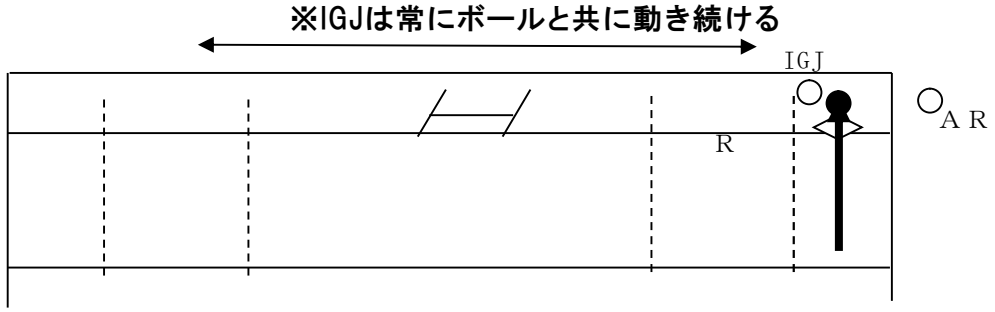
【試合後】

⑱スコアの確認	対戦校同士およびマッチオフィシャルと得点の照合を行う。
⑲ベンチからの退去	速やかに次の試合のチームにベンチを明け渡す。 原則次の試合のマッチオフィシャルの準備をしておく。
⑳会場校の整備	最終試合終了後、グランド整備やごみ拾いなどを協力して行う。

※必ず以下の内容を確認しておいて下さい(タイムキーパーを行う生徒も)

＜インゴールジャッジ(IGJ)の役割について＞<u>※タッチジャッジに準ずる服装で行う</u>

○ボールグランディング(トライシーンでは必ず近くで確認)をジャッジする
○ゴールキック(レフリーと 2 人で確認)をジャッジする
○インゴールへ持ち込んだボール(キックやパスやプレーヤーの足に関して、必ず近くで確認)をジャッジする
○インゴール内で起こるファウルプレーをジャッジする



＜第3アシスタントレフリー(第3AR)の役割について＞<u>※タッチジャッジに準ずる服装で行う</u>

交替／入替について

○ハーフウェイラインの延長線上(本部前付近)に位置し、両チームからの交替／入替に備える
○各チームが持ってきた「交替／入替カード」を確認後、以下の要領でレフリーに伝達する
①本部にある電子ホイッスルを鳴らしてレフリーを呼ぶ
②チームカラーと OUT するプレーヤーのナンバー(背番号)をコールする
<u>例:「レフリー」 ⇒ 「ブルー」 ⇒ 「7番 OUT」</u>

交替／入替のタイミング

○レフリーへのコールは、①タッチに出た、②スクラム、③けが人が出たなど、プレーが切れたタイミングで行う。但し、クイックスローの可能性があるタッチの場合は行わない。
○PK・FK の場合は、クイックタップでの攻撃が明らかにない(けが人や注意・カードなど)場合はレフリーに確認し、OK ならば交替／入替を行う。但し、クイックタップの可能性がある場合は行わない。
○トライ後のコンバージョンキックの間での交替／入替は、レフリーへのレポートはせず、選手の交替／入替を行う。(交替／入替があったこともレポートする必要はない)

注意事項

○キックオフ時点でグランドに7名がいること。試合中に 4 名以下になった場合はその時点で試合終了
○選手の交替は5名までとし、1試合はリザーブを含めて12名以内で行う
○シンビンの場合は、競技時間2分の計測を開始し、2分が経過したら選手をグランドに戻す

＜タイムキーパー(TK)の役割について＞

○本部にてレフェリーのキックオフホイッスルから計測を開始し、7分に達した時点で鐘を鳴らし、前半及び後半終了の合図を行う。この合図はレフェリーだけでなく、選手、会場全体にも聞き取れるように鳴らす
○ハーフタイム(1分)終了の 30 秒前にも鐘を鳴らし、後半開始の準備を誘導する
※計測用タイマー及び鐘は本部で用意してあります。